



歴史を刻む大木が花満開

長島町立城川内小学校の校庭中央にあるセンダンの木が5月の下旬満開となり、見ごろを迎えました。

このセンダンの木は、高さが約20㍍、枝幅25㍍、そして幹回りは5.3㍍で、明治39年の学校設立当時から今はなき木造校舎裏に生えていたとのこと。現在では、校舎建築などに伴い校庭の真ん中に移植され、いつも子どもらを見守ってきました。そして特にこれからの夏場は太陽をさえぎり、暑さをしのがせてくれます。

